香川高等専門学校 産業技術振興会

会報 Bulletin

Vol. 15

2023. 12 December

株式会社レクザム
取締役副社長　生産本部長
住田会長

Topics

香川高専産業技術振興会役員会及び総会を開催しました

令和5年9月8日（金），リーガホテルゼスト高松にて，香川高等専門学校産業技術振興会役員会及び総会を開催しました。

総会では，会員企業他42名が出席し，住田博幸会長（株式会社レクザム取締役副社長生産本部長）及び田中校長の挨拶の後，第14事業年度の事業報告・会計報告及び第15事業年度の事業計画・予算が審議され，承認を得ました。

CONTENTS

2 役員挨拶
4 総会報告
6 活動報告
9 香川高専の活動紹介
12 会則及び細則
14 役員名簿・会員名簿
16 事務局からのお知らせ

役員挨拶

会長挨拶

株式会社レクザム
取締役副社長　生産本部長　**住田 博幸**

本会の会長を拝命して早くも5年が経ち，4年ぶりに恙なく総会等の全行事が開催できましたことは誠に有難く感謝致します。会議における諸件の審議もさることながら，矢張りその後の懇親会も大変に有意義なものだと思います。また懇親会の前の講演会ではパナソニックHDの安藤様による《新しいロボット産業》についてご講演を頂き，大変に興味深い内容で会員の皆さん方も聞きいっていました。欲をいえばもっと会員の皆さんの参加率が高ければ，と感じています。

ところで，私たちの電子業界では，半導体を中心とする電子部品の供給不足が2年以上も続いて大変な目に遭いました。しかしここにきて一変して供給過剰な状態になり，逆に在庫調整に四苦八苦する状況です。また世界各地で勃発している戦争状態も大変に気がかりです。

色々な難問の中では御座いますが，振興会の皆様方のご協力を賜りながら香川高専と共に発展していく所存ですので，引き続きよろしくお願い申し上げます。

副会長挨拶

株式会社タダノ
執行役員生産部門担当　**二村 泰寛**

この度，副会長を拝命しましたタダノの二村でございます。よろしくお願い申し上げます。

香川県をはじめ四国地方は，美しい自然景観が広がり伝統的な文化が根付いており，農業，漁業，製造業，そして観光業など，幅広い産業が広がっています。また，関連の企業も多く存在し，グローバルな競争と技術の進化により，各企業は更なる高度な技術を求めています。

地域経済を健全な成長に導き，地域の魅力を高め，持続可能な未来を築いていくためにも，技術の進歩とイノベーションは，まさに企業にとって重要な要素であり，新しい技術を導入し，生産性を向上させるためには，高度な技術スキルを持つ人材が求められます。

本振興会の活動を通して，香川高等専門学校と地域産業界が連携する事で，優れた人材を育成し，地域社会の発展に繋がっていくことを心より願っております。

理事挨拶

株式会社香川銀行
専務取締役　**長町　亘洋**

本年より理事を拝命しました香川銀行の長町と申します。よろしくお願いします。

産業界では，製造業を中心に産業技術人材の不足が深刻化しています。これは，少子高齢化や人口減少に加え，技術革新の加速による需要増加が主因と考えられています。

また，ロボット，IoT，AIなどの先進ツールの広範な利活用が進展していますが，人手不足が進む中で生産性の高い現場を構築することは簡単ではありません。

これらの課題を解決していくためには，将来の産業界の担い手となる若手技術者の育成が不可欠となります。そして，本振興会による活動は，業界の様々な課題の解決を目指し，地域産業界の持続的な成長を支える重要な機能を持っていると認識しています。

私どもは，地域金融機関として，本会の活動を通じて地元企業の方々をサポートすることで本振興会の活動に寄与できるよう尽力して参る所存です。何卒宜しくお願い申し上げます。

理事挨拶

株式会社四国総合研究所
代表取締役社長　**越智　浩**

この度，理事を拝命いたしました四国総合研究所の越智でございます。

四国総合研究所は，電気事業への貢献と，電気事業で培った技術の提供による地域振興を目的として事業を行っております。「探究から創造へ　創造から新たな探究へ」を企業理念として，電力・エネルギー分野はもとより，土木建築，地質，情報通信，エレクトロニクス，化学，バイオテクノロジーなど，幅広い分野の研究に取り組んでおります。

昨今，理系離れ・若手人材不足が大きな課題となっている中で，かねてより，数多くの優秀なエンジニアを継続的に輩出されている香川高等専門学校殿に対する地域の期待は，益々大きくなってきております。本会の活動を通じて，香川高等専門学校殿と我々産業界が一体となり，これからの地域を支える人財の育成をはじめ，持続的な経済発展に寄与できるよう，微力ながら尽力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

幹事挨拶

香川高等専門学校
副校長　**小島　隆史**

日頃より本校へのご協力とご支援を賜り，誠にありがとうございます。

今年度から副校長を拝命し，幹事を務めさせていただきます小島です。

機械工学科に所属しており，熱工学，内燃機関を専門としています。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は，本校両キャンパスに「起業家工房」が整備され，スタートアップを含めいろいろなモノづくりにチャレンジしたい学生のサポートを拡充していく計画です。

また，起業家マインド，問題発見・解決能力，コミュニケーションスキルなどを身につけることができるアントレプレナーシップ教育を充実し，社会に出てから創造的に活躍する人財を育成していきたいと考えています。

会員企業の皆さまには，今後とも本校の教育にご支援を賜りますよう，お願い申し上げます。

総 会 報 告

日　時　令和5年9月8日（金）　午後3時25分～4時10分

次　第
1. 開会の辞
2. 会長挨拶　株式会社レクザム　取締役副社長生産本部長　住田　博幸
3. 校長挨拶　香川高等専門学校長　田中　正夫
4. 議　　事　(1) 第14事業年度事業報告について　(2) 第14事業年度会計報告について
(3) 第15事業年度事業計画について　(4) 第15事業年度予算について
(5) 役員の選出について　(6) その他
5. 閉会の辞

◎第14事業年度（2022年9月～2023年8月）事業報告について

Ⅰ 産学連携による技術開発の推進，地域産業の発展に関すること。
(1) シーズ発表会等の案内及び開催

Ⅱ 技術に関する講演会，講習会，研修会などの開催及び情報誌の発行。
(1) 講習会，研修会等の後援および案内　(2) イブニングセミナーの開催
(3) 教職員の会員企業等訪問見学会　(4) 会報の発行

Ⅲ 技術分野での技術相談，情報交換に関すること。
(1) 共同研究・受託研究・技術相談の件数（令和4年度）
(2) 共同研究等推進支援事業による支援件数

Ⅳ 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。
(1) 会員企業への出前講座

Ⅴ インターンシップ，共同教育に関すること。
(1) インターンシップの受入れ先（令和5年度）　(2) 企業技術者による学生教育の実施

Ⅵ 企業説明会・見学会，卒業生による就職説明会に関すること。
(1) 仕事研究セミナーおよび合同企業説明会への参加　(2) 特別活動におけるキャリア教育　→　実績なし

Ⅶ 香川高専の教育・研究の充実，振興に関すること。
(1) サイエンスフェスタへの企業展示依頼　→　実績なし
(2) 発明コンテストの補助　(3) 香川県との連携による出前授業
(4) 香川銀行・香川高専連携協力協定に基づく推進事業講演会

Ⅷ その他，本会の目的達成に必要な事業に関すること。
(1) 産業技術振興会HPの更新

◎第14事業年度（2022年9月～2023年8月）会計報告について

【収入の部】　（単位：円）

事　項	収入額	概　要
前期繰越金	4,108,148	
会費収入	4,040,000	
その他収入	40	
合　計	8,148,188	

【支出の部】　（単位：円）

事　項	支出済額	概　要
講演会等実施経費	159,372	講師謝金及び旅費
技術者育成事業経費	173,614	企業技術者活用プログラム他
共同研究等推進支援事業経費	1,000,000	振興会共同研究等支援事業
就職説明会実施経費	560,080	会場設営費
運営経費	1,502,806	会場借上料他
次期繰越金	4,752,316	
合　計	8,148,188	

【会計監査報告】　会計監査人　アオイ電子株式会社　取締役社長　木下　和洋
会計監査人　株式会社石垣　取締役執行役員開発部長　片山　雅義

◎第15事業年度（2023年9月～2024年8月）事業計画について

Ⅰ 産学連携による技術開発の推進，地域産業の発展に関すること。
（1）シーズ発表会等の案内

Ⅱ 技術に関する講演会，講習会，研修会などの開催及び情報誌の発行。
（1）講演会等の開催（1回）　（2）講習会，研修会等の案内・補助　（3）イブニングセミナー開催
（4）研究交流会の案内　（5）教職員の会員企業訪問見学会　（6）会報の発行

Ⅲ 技術分野での技術相談，情報交換に関すること。
（1）技術相談，共同研究，受託研究の促進　（2）共同研究等推進支援事業の支援

Ⅳ 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。
（1）会員企業への出前講座の実施

Ⅴ インターンシップ，共同教育に関すること。
（1）インターンシップへの支援　（2）企業技術者活用プログラム

Ⅵ 企業説明会・見学会，卒業生による就職説明会に関すること。
（1）仕事研究セミナーの開催　（2）特別活動におけるキャリア教育の支援
（3）就活手帳の作成

Ⅶ 香川高専の教育・研究の充実，振興に関すること。
（1）サイエンスフェスタへの企業展示依頼　（2）発明コンテストの補助

Ⅷ その他，本会の目的達成に必要な事業に関すること。
（1）振興会HPの維持管理

◎第15事業年度（2023年9月～2024年8月）予算案について

【収入の部】　（単位：円）

事　項	予算額	概　要
前期繰越金	4,752,316	
会費収入	4,040,000	
その他収入	40	
合　計	8,792,356	

【支出の部】　（単位：円）

事　項	予算額	概　要
講演会等実施経費	60,000	講師謝金及び旅費
技術者育成事業経費	828,000	企業技術者活用プログラム他
共同研究等推進支援事業経費	1,000,000	振興会共同研究等支援事業
就職説明会実施経費	1,280,000	会場設営費他
運営経費	1,213,200	会場借上料他
予備費	4,411,156	
合　計	8,792,356	

◎役員の交代について

Ⅰ 副会長の交代について	（旧）	株式会社タダノ	取締役執行役員常務	澤田　憲一　様
	（新）	株式会社タダノ	執行役員生産部門担当	二村　泰寛　様
Ⅱ 理事の交代について	（旧）	株式会社香川銀行	常務取締役	川井　幸治　様
	（新）	株式会社香川銀行	専務取締役	長町　亘洋　様
	（旧）	株式会社四国総合研究所	代表取締役社長	松本　真治　様
	（新）	株式会社四国総合研究所	代表取締役社長	越智　　浩　様
Ⅲ 幹事の交代について	（旧）	香川高等専門学校	一般教育科　教授	澤田　　功　様
	（新）	香川高等専門学校	副校長	小島　隆史　様

活 動 報 告

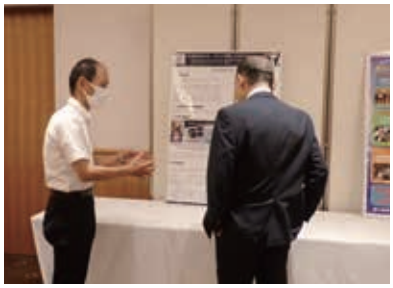
◎シーズ発表会について

香川高専産業技術振興会会員企業との共同研究等の活性化を目的とした香川高専教員によるシーズ発表会を，令和5年9月8日（金）にリーガホテルゼスト高松で開催しました。

教員6名による共同研究実施事例とシーズ発表を行いました。ポスターセッションでは会員企業より積極的な問い合わせもあり，大変有意義な発表会となりました。

【題目一覧】

学科名	職名・氏名	題　目
電気情報工学科	准教授　村上　幸一	軌道維持用推進システムを搭載した次世代CubeSatの技術実証
建設環境工学科	准教授　柳川　竜一	雨水流出抑制・遅延型水路の開発と現地試験の実施
電子システム工学科	特任教授　長岡　史郎	ラミネートフォトマスクによる曲面への微細加工の産業応用
電子システム工学科	准教授　森宗　太一郎	光の入射方向を検出する半透明薄膜センサの開発
建設環境工学科	教　授　向谷　光彦	長期予備注水による地盤の透水試験方法の確立と評価法に関する研究
電子システム工学科	教　授　三﨑　幸典	流量測定用センサの開発とAIを利用した流量測定技術構築



◎講演会および交流会について

令和5年9月8日(金)に，総会の日程に併せて講演会を開催しました。

講演会では，パナソニックホールディングス株式会社　マニュファクチャリングイノベーション本部　ロボティクス推進室　室長　安藤　健氏による「ものづくりの強みを活かした新しいロボット産業の創出への挑戦」と題した講演を頂きました。その後会場を移して4年ぶりとなる交流会を行いました。会員様と香川高専教職員が和やかな雰囲気の中で交流を深められました。

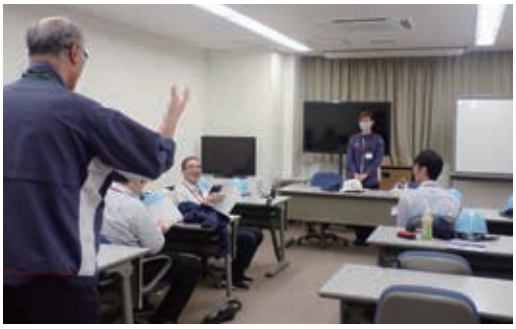
◎会員企業見学会について

令和5年8月23日（水）に，香川高専産業技術振興会会員企業等見学会を開催しました。振興会会員企業等との産学連携や学生の進路などを考える機会として実施しているもので，今回は2社を見学しました。

最初に，三菱電機株式会社受配電システム製作所を訪問しました。会社概要をご紹介いただいた後，直流配電実証設備や遮断機・スイッチギアなどの生産設備を見学し，研究開発や人財育成について意見交換を行いました。

次に会員企業である川田工業株式会社を訪問しました。同社でも最初に会社概要をご紹介いただきビデオを視聴した後，工場を見学し，橋梁を主体とした大型の鋼構造物の製作工程等についてご説明いただきました。その後，今後求める人財などについてご意見等をいただきました。

今回は8名の香川高専教職員が参加しましたが，両社とも，この見学を通じて高い技術力を知ることができました。学生の進路や共同研究のきっかけ等，今後の取組みに有意義な時間となりました。



◎香川高専生のための仕事研究セミナー開催について

令和4年12月24日（土）に香川高専第1体育館において専攻科1年生および本科4年生を対象とした香川高専生のための仕事研究セミナーを開催しました。

本セミナーには，県内外から146社の企業（官公庁含む）にお越し頂きました。参加学生は，志望する企業ブースを次々に訪問し，真剣な面持ちでメモを取りながら担当者の説明に耳を傾けていました。本セミナーの午前の部は，主に香川県内企業で構成される香川高専産業技術振興会会員企業にご協力を頂いています。

企業担当者との面談が学生にとって有意義な経験となり，今後の就職活動に活用されることを期待しています。

活 動 報 告

◎インターンシップ概要と協力会員企業一覧

令和5年度における香川高専生のインターンシップ参加学生数の合計は210名でした。そのうち60名を香川高専産業技術振興会会員企業（32社）に受入れしました。今後も香川高専インターンシップにご協力よろしくお願いいたします。

【インターンシップ派遣先一覧】

（50音順・学校がコーディネートしたものに限る）

会員企業名	参加人数	会員企業名	参加人数	会員企業名	参加人数
アオイ電子（株）	2	四国電力（株）	9	長谷川体育施設（株）	1
ADAPTEX（株）	1	四変テック（株）	1	（株）ヒューテック	1
（株）石垣	2	（株）タダノ	6	（株）FUJIDAN	1
（株）エイト日本技術開発	3	（株）タダノエンジニアリング	1	（株）フソウ	2
鹿島建設（株）	3	（株）地圏総合コンサルタント	1	（株）マキタ	1
川崎地質（株）	1	東京ガスネットワーク（株）	1	三ツ星ベルト（株）	1
川田工業（株）	1	東洋建設（株）四国支店	1	（株）四航コンサルタント	1
（株）鴻池組	1	（株）トーコー	1	（株）四電技術コンサルタント	2
（株）コヤマ・システム	3	南海プライウッド（株）	1	（株）レクザム	5
（株）サムソン	2	日東電工（株）	1	（株）ワイイーエス	1
（株）シーマイクロ	1	日本工営（株）	1		

◎企業技術者活用プラグラムの実施について

産業技術振興会会員企業の技術者の方が，香川高専の学生に対して卒業研究や特別研究の指導等をしていただく標記プログラムについて，第14事業年度は令和5年4月～7月に実施しました。

下記6社6名の技術者の方に指導等ご協力頂きました。

第15事業年度については来年3月から実施予定ですので，引き続きご協力をお願いいたします。

【実施会員企業】

鹿島建設（株），（株）鴻池組，（株）チェリーコンサルタント，日本興業（株），（株）増田地質工業，（株）四電技術コンサルタント

◎出前授業を実施しました

令和5年11月14日（火）午後に「技術者・研究者が知っておきたいビジネス・金融の基礎」について，香川銀行高橋正彦氏らをお招きして出前授業を実施しました。受講者は専攻科建設環境工学コース1年の計7名でした。

学生達にとって今後の進路活動，研究に活かすことができる有意義な出前授業となりました。

香川高専の活動紹介

◎高専制度創設60周年記念事業「高専の森」植樹式及び高専への功労者感謝状贈呈式を実施しました

高専制度創設60周年記念事業「高専の森」の一環として，香川高専高松キャンパス第一体育館前及び詫間キャンパス管理棟前に記念植樹を行いました。今回植樹したのはユズリハで，花言葉は「世代交代」で代々続いていく縁起の良い木とされています。

令和5年2月16日（木）に高松キャンパスにおいて実施した植樹式には，国会議員の方々をはじめ産官学から来賓のご臨席を賜りました。鍬入れは，山下三豊市長，半山香川県中学校長会会長，谷口高専機構理事長，田中校長の4名で行われました。最後に独立行政法人国立高等専門学校機構谷口理事長よりお礼のご挨拶をいただきました。

また，植樹式の前には，感謝状贈呈式を実施しました。高専への功労者43社（名）の皆様のうち，当日ご臨席賜りました方々に，一般社団法人全国高等専門学校連合会会長からの感謝状を谷口高専機構理事長が贈呈されました。

◎香川高専専攻科卒業生がベンチャー企業「(株)D-yorozu」を設立し記者会見しました

令和5年4月20日（木）9時15分～香川高専詫間キャンパス第4講義室において，令和5年3月に専攻科電子情報通信工学専攻を修了した柏原悠人氏，山田 斉氏が高専発ベンチャー（株）D-yorozu（ディー・ヨロズ）を起業し設立記者会見を行いました。（香川高専3例目）

最初に（株）D-yorozuの柏原悠人氏（CEO），山田 斉氏（CTO）から会社設立の報告と今後のビジネス計画としてDCON2022の実績のプロダクト化を中心とし，AIを活用したデータ分析，ハードウエアの開発，プログラミング教室などを行うことが発表されました。

その後，遠隔により参加頂いた東京大学大学院松尾 豊教授がDCON2022以降のサポート状況と設立の経緯，今後の目標などを紹介，香川高専田中校長から香川高専が推進しているスタートアップを推進する組織やサポート体制を説明して頂きました。

最後に山下三豊市長から三豊市として（一社）みとよAI社会推進機構：MAiZMを中心にサポートし，高専発スタートアップをさらに推進したいとビデオメッセージを頂きました。

今後「AI社会実装教育研究本部」や（一社）みとよAI社会推進機構：MAiZMが（株）D-yorozu をサポートするだけでなく，（株）D-yorozuに続く香川高専発ベンチャーの起業を目指したいと思います。

香川高専の活動紹介

◎技術講座の実施について

香川高専では，かがわ産業支援財団（新かがわ中小企業応援ファンド）と共催で製造技術の高度化やIT化の進展に対応できる人材の育成を図ることを目的とし，企業の中核として活躍が期待される技術者等を対象とした各種技術講座を実施しています。

最近の開催内容については以下のとおりです。

第1回【組込み技術セミナー（リーダーコース）】

講師：NPO法人組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会（SESSAME）講師
日程：令和5年8月31日～9月1日
内容：1日目・プロジェクト管理とは
・プロジェクトマネージメントの概要
・プロジェクト計画立案・運用とリスク管理の概要
・グループワーク
2日目・インスペクションのポイント
・構成管理演習
・実践!構成管理
・組込みソフトの品質管理・同演習

第2回【有限要素法解析入門】

講師：サイバネットシステム（株）井上 岳 氏，香川高専　徳田 太郎 氏・高谷 秀明 氏
日程：令和5年9月4日～9月5日
内容：1日目・体験：CAE実験室−構造力学編
・トピックス講演
・ANSYS APDLの概要と基本操作
2日目・実習1：APDLの基本操作・静解析モデル化と解析
・実習2：Workbenchを用いたモデル化と解析例1
・実習3：Workbenchを用いたモデル化と解析例2
・質疑応答・技術相談

第3回【GEO×スタートアップ講習会「①地盤の強さと環境の評価」コース】

講師：青葉工業（株）　栗原 弘光 氏，（株）ナイバ　菅 秀哉 氏
香川高専　向谷 光彦 氏・荒牧 憲隆 氏・岡崎 芳行 氏
日程：令和5年11月16日
内容：1. 土壌対策や土質試験の最前線
2. 原位置の土の強さを評価するには
3. 現場で土の支持力を計測・評価する手法・実技

第4回【組込み×AWS開発講座】

講師：桐畑 鷹輔 氏，浜名 将輝 氏
日程：令和5年12月17日
内容：・開発事例の紹介
・Raspberry　Pi上でnode.jsを用いた開発
・Raspberry　Piに繋いだセンサからのデータ取得
・AWSクラウド連携（取得したデータの送信や通知）

◎「高専制度60周年記念」特別講演会が開催されました

日　付	講演者	演　題
令和4年 12月22日	香川高専　名誉教授 八尾　健 氏	電池の適材適所 ー電池イノベーションの指針としてー

◎第14回香川高専発明コンテストの表彰式について

令和5年10月16日（月）に香川高専高松キャンパスにおいて，第14回発明コンテスト表彰式を実施しました。発明コンテストは，技術者としての道を歩む柔軟な思考を持つ学生が，知的財産活動により得られた新規アイデアの権利主張を行う経験を通じて自ら学ぶことを目的として，毎年開催しています。

今年度は16件の応募があり，書面による審査が行われ，厳正な審査の結果，7件12名が受賞となりました。

表彰式では，最優秀賞（全国パテントコンテスト推薦賞），優秀賞（香川高等専門学校産業技術振興会長賞），アイデア賞（地域イノベーションセンター長賞），奨励賞の各賞について，田中校長より表彰状および記念品が授与されました。

◎香川高専の学生が出願した特許が成立しました

岡田朋也くん・新谷竜暉くん・三野太洋くん（いずれも出願した令和3年度当時，香川高専の専攻科1年生）が出願した特許「割箸立」（特願2022-069084）が，令和5年10月13日付で特許第7367113号として認められました。この発明は，令和3年に香川高専で実施された第12回発明コンテストで最優秀賞を受賞したのちに，同年度の全国パテントコンテストに出品され，優秀賞（特許出願支援対象）および特別賞「新しい生活様式アイデア賞」を受賞したものです。独立行政法人工業所有権情報・研修館からの支援の元，学生自ら特許出願手続きを行い，この度，特許が成立しました。

香川高専では，校内で実施している発明コンテストや弁理士との連携などを通じて，今後も知的財産に関する教育を推進してまいります。

◎KOSEN EXPO 2022 ファンミーティングに参加しました

令和4年12月13日（火）10:00～17:00，一橋講堂中会議場で行われたKOSEN EXPO 2022 ファンミーティングに参加しました。

シーズ発表ではKOSEN EXPOで紹介した「正確な呼吸測定を実現するオリジナル高感度呼吸センサ」「高感度呼吸センサーとカメラを用いた人間の状態推定システム」を紹介し，シーズ展示では「NanShon 健康状態見守りシステム」「こんどる？ 混雑情報受信システム」を紹介しました。

興味を持っているファンミーティング参加企業の方からシーズについて質問を受け，学生が説明させて頂きました。また参加企業の方から応用分野について提案もあり有意義なシーズ紹介となりました。

会則及び会費に関する細則

香川高等専門学校産業技術振興会会則

（名称）
第1条　本会は，香川高等専門学校産業技術振興会と称する。
（目的）
第2条　本会は，地域産業界と香川高等専門学校（以下「香川高専」という。）との連携を深め，香川高専が有する人・知・物的資源を活用し，技術交流や情報交換等各種事業を通し，地域産業の発展を図るとともに，香川高専の教育研究の振興に寄与することを目的とする。
（事業）
第3条　本会は，前条の目的を達成するために次の事業を行う。
（1）産学連携による技術開発の推進，地域産業の発展に関すること。
（2）技術に関する講演会，講習会，研修会などの開催及び情報誌の発行。
（3）技術分野での技術相談，情報交換に関すること。
（4）企業社員の研修等育成支援事業に関すること。
（5）インターンシップ，共同教育に関すること。
（6）企業説明会・見学会，卒業生による就職説明会に関すること。
（7）香川高専の教育・研究の充実，振興に関すること。
（8）その他，本会の目的達成に必要な事業に関すること。
（会員）
第4条　本会は，本会設立の趣旨に賛同する次の会員をもって組織する。
（1）法人会員　国内外の企業及び団体法人
（2）個人会員　本会の趣旨に賛同する香川高専卒業生等
（3）特別会員　大学，官公署，商工会議所等の公的機関，香川高専教職員
（役員）
第5条　本会に，次の役員を置く。
（1）会　長　1名
（2）副会長　2名
（3）理　事　若干名
（4）幹　事　2名
（役員の選出）
第6条　役員は，総会において会員のうちから選出する。
（役員の任務）
第7条　会長は，本会を代表し本会の業務を総括する。
2　副会長は，会長を補佐し会長に事故あるときはその職務を代行する。
3　理事は，本会運営に関する事項を処理する。
4　幹事は，会長を助けて会務を処理する。
（役員の任期）
第8条　役員の任期は2年とする。ただし，再任は妨げない。
2　役員に欠員が生じた場合は，必要に応じて補充する。ただし，補充された役員の任期は，前任者の残任期間とする。
（会議）
第9条　会議は，総会及び役員会とする。
（総会）
第10条　総会は，会員をもって構成し毎年1回開催する。
2　会長は，総会の議長となる。
3　総会において審議する事項は，次のとおりとする。
（1）運営の基本方針に関すること。
（2）事業計画並びに予算・決算に関すること。
（3）役員の選出に関すること。
（4）会則の改正に関すること。
（5）その他本会の目的達成に関すること。
4　総会は法人会員及び個人会員の過半数の出席（委任状を含む。）をもって成立し、議事は出席者（特別会員を除く。）の過半数の同意を以て議決する。

（役員会）
第11条　役員会は，第5条に定める役員をもって構成し必要に応じて会長が招集する。
2　会長は，役員会の議長となる。
3　役員会において審議する事項は，次のとおりとする。
（1）本会の事業，会計及び運営に関すること。
（2）その他会務遂行上必要と認められること。
4　役員会は年度末に会務ならびに会計報告を作り，総会で会員の承認を受けなければならない。
（経費）
第12条　本会の運営経費は，会費，寄附金その他の収入をもって充てる。
（事業年度）
第13条　本会の事業年度は，毎年9月1日に始まり，翌年の8月31日に終わる。
（事務局）
第14条　本会は，香川高専地域イノベーションセンター内に事務局を置く。
（その他）
第15条　この会則に定めるもののほか，本会の運営に関して必要な事項は，役員会においてこれを定める。

附　則
1　この会則は，平成21年8月28日から施行する。
2　この会則施行後において最初に選任される役員の任期は，会則第8条第1項の規定にかかわらず，平成23年8月31日までとする。
3　この会則施行後の最初の事業年度は，会則第13条の規定にかかわらず，平成21年8月28日から平成22年8月31日までとする。

附　則
この会則は，平成21年10月1日から施行する。

香川高等専門学校産業技術振興会会費に関する細則

（目的）
第1条　この細則は，香川高等専門学校産業技術振興会の会費に関し，必要な事項を定める。
（会費の額）
第2条　会費は年会費とし，次の各号のとおりとする。
（1）法人会員　3万円
（2）個人会員　1万円
（3）特別会員　免除する。
（納入時期等）
第3条　前条に定める会費の納入は，入会時及び毎年度（入会年度を除く。）9月末日までに納入するものとする。
2　納入された会費は，原則として返還しない。

附　則
この細則は，平成21年8月28日から施行する。

附　則
この細則は，平成21年10月1日から施行する。

役員名簿・会員名簿

役　員　名　簿

令和5年12月1日現在

企　業　等　名	職　・　氏　名	役　職
株式会社レクザム	取締役副社長　生産本部長　住田　博幸	会　長
株式会社タダノ	執行役員生産部門担当　二村　泰寛	副会長
株式会社百十四銀行	取締役常務執行役員　金本　英明	副会長
アオイ電子株式会社	取締役社長　木下　和洋	理　事
株式会社石垣	代表取締役社長　石垣　　真	理　事
株式会社香川銀行	専務取締役　長町　亘洋	理　事
鹿島建設株式会社	執行役員　四国支店長　尾崎　美伸	理　事
川田工業株式会社	橋梁事業部生産統括部副統括部長　北村　正見	理　事
株式会社四国総合研究所	代表取締役社長　越智　　浩	理　事
四国電力株式会社	常務執行役員　石田　英芳	理　事
四国旅客鉄道株式会社	専務取締役　鉄道事業本部長　長戸　正二	理　事
三和電業株式会社	相談役　山地　真人	幹　事
香川高等専門学校	副校長　小島　隆史	幹　事

会　員　名　簿（50音順）

令和5年12月1日現在

法人会員

アオイ電子（株）
アカマツ（株）
（株）アサノ大成基礎エンジニアリング
朝日スチール工業（株）
（株）朝日段ボール
アズビル（株）
ADAPTEX（株）
（株）石垣
泉鋼業（株）
（株）ウズマキ
（株）エイト日本技術開発
（株）OA.システムシャープ
（株）大矢根利器製作所
オリエンタルモーター（株）　高松国分寺事業所
（株）香川銀行
香川シームレス（株）
鹿島建設（株）
カトーレック（株）
（株）川上板金工業所
川崎地質（株）　四国支店
川田工業（株）
木下製粉（株）
錦城護謨（株）
（株）クシベウィンテック
建装工業（株）
小出鋼管（株）
（株）香西鉄工所
（株）鴻池組
（株）五星
（株）コヤマ・システム
坂出機工（株）
（株）サムソン
三協エンジニアリング（株）
讃光工業（株）
三和エレクトロニクス（株）
（株）三和テスコ
三和電業（株）
（株）シアテック
（株）シーマイクロ
（株）ジェイアール四国コミュニケーションウェア
四国化工建設（株）
（株）四国総合研究所
（株）四国電子計算センター
四国電力（株）

法人会員

四国旅客鉄道（株）
（株）システムデザイン
四変テック（株）
シマ（株）
（株）ジャスト西日本
伸興電線（株）
住友大阪セメント（株）　四国支店
セキ（株）
セッツカートン（株）
（株）セリックス
（株）総合開発
第一衛材（株）
大成建設（株）　四国支店
大豊産業（株）
太陽サカコー（株）
高松産業（株）
高松帝酸（株）
（株）タグチ工業
（株）竹中土木　四国支店
（株）タダノ
（株）タダノエンジニアリング
（株）タダノシステムズ
タチバナ工業（株）
（株）ダックス
田村ボーリング（株）
（株）チェリーコンサルタント
（株）地圏総合コンサルタント
中央開発（株）　四国支店
（株）中部コンサルタント
（株）ちよだ製作所
筒井鉄工（株）
テクノ・サクセス（株）
（株）デンロコーポレーション
東亜合成（株）　坂出工場
東京ガスネットワーク（株）
東京水道（株）
東洋建設（株）　四国支店
（株）東洋製作所
東洋炭素（株）
（株）トーコー
内海建設コンサルタント（株）
（株）ナイバ
（株）長峰製作所
南海プライウッド（株）
（株）南條工作所
西尾レントオール（株）　四国営業部
（株）日建技術コンサルタント　四国支社
日清オイリオグループ（株）
（株）日進機械
日東河川工業（株）
日東電工（株）
（株）NIPPO　四国支店
日本基礎技術（株）
日本工営（株）　四国支店
日本興業（株）
長谷川体育施設（株）
（株）パブリック
（株）パル技研
（株）ビットコミュニケーションズ
（株）百十四銀行
（株）ヒューテック
（株）ヒロエンジニアリング
（株）ファイトロニクス
富士船舶装備（株）
（株）藤田商店
（株）FUJIDAN
（株）フソウ
（株）プレックス
（株）ベネアス
（株）マキタ
（有）正木鉄工所
（株）増田地質工業
松内建設（株）
丸重商事（株）
（株）三井E&S
三井住友建設鉄構エンジニアリング（株）　四国工場
三菱電機エンジニアリング（株）　丸亀事業所
三ツ星ベルト（株）
三村鉄工（株）
（株）村上組
（株）村上製作所
（株）森川ゲージ製作所
山城金属（株）
（株）大和製作所
（株）四航コンサルタント
（株）四電技術コンサルタント
ライト工業（株）　四国営業所
ルネサス エレクトロニクス（株）
（株）レクザム
（株）ワイイーエス
（株）ワイジーテック

個人会員

関　　丈夫
中野　典之
細川　敏弘
三谷　朋幹
山内　守

特別会員

（公財）かがわ産業支援財団

事務局からのお知らせ

1 産業技術振興会主催　香川高専生のための仕事研究セミナー

香川高専学生が就職先を選択するうえにおいて，企業の採用担当者の方と接し，産業技術振興会加盟企業の会社概要及び採用状況などについて情報収集の場を設けることを目的としたセミナーを，今年度も実施しますのでお知らせします。詳細についてはメールでご案内しておりますので，ご確認ください。

開催日時　令和6年2月22日（木）
会　　場　香川高専高松キャンパス第１体育館
参 加 費　無料

2 技術講座予定

講座名：（仮）GEO×スタートアップ講習会・②土地の水はけを調べるコース
日　程：令和6年1月予定
講　師：未定

講座名：AIがわかるJetBot講座
日　程：令和6年1月12日（金）
講　師：㈱D-yorozu　柏原 悠人 氏，山田 斉 氏

3 就活手帳を作成しました

香川高専4年生及び専攻科1年生に対して配布していたものの、予算都合により廃刊の危機にあった，就職活動に必要な情報とスケジュール帳が一体となった「就活手帳」について，今年度から産業技術振興会予算より発行となりました。

手帳には，学生が産業技術振興会会員企業を知るための一助となるよう，会員企業一覧ページ（12ページ（1ページ12社掲載QRコード付き））を新たに設けました。学生だけでなく教員にも大変好評で，香川高専生の就職活動に多大なる貢献をしていただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。

編集後記

4月の人事異動により本会事務局担当となりました，研究協力係の岡本です。

当会の発展に向けて精進いたしますので，どうぞよろしくお願いいたします。

さて，第15事業年度は新型コロナウイルス感染症も落ち着き，対面での総会・講演会・シーズ発表会に加えて，4年ぶりとなる交流会を開催することができました。やはり顔を合わせての交流はリモートとは全然違いますね。

当日は多くの会員様にご参加いただき，終始和やかな雰囲気の中で交流を深められ，コロナ前の日常が帰ってきたことが嬉しく感じられました。

会報及び産業技術振興会に対するご意見，ご希望等がございましたら，お気軽にお寄せください。

今後ともよろしくお願いいたします。

香川高等専門学校産業技術振興会
〒761-8058 香川県高松市勅使町355
香川高専総務課 研究協力係
TEL：087-869-3865・3818
FAX：087-869-3819
E-mail:kenkyu@t.kagawa-nct.ac.jp
https://www.aip-kagawa-kosen.org/